

修正箇所には下線を引く
校閲のコメント機能は使用しない

貴重なご意見をありがとうございました。

論文中では修正部分は下線を用いて示させて頂きました。

以下に、個別のコメント(斜字体にて引用)への回答と修正内容をお示しいたします。

査読者からのコメントを引用

査読者(A)のご指摘に対する修正点

Major Comments

・緒言部分の先行研究レビューが不足しているために、なぜこのような問題提起に結びつくのか(なぜ「悪化認識の遅れ」や「受診の遅れ」に着目する必要があるのか)、読み手が理解しにくくなっています。

⇒悪化認識の遅れや受診判断の遅れに着目した理由が伝わるよう、クローン病での先行研究ではありませんが先行研究の引用を追加し、余分な記述を削除するなどして修正いたしました。(p.2, 9-20 行目)

コメントへの回答、本文中の修正箇所の説明
(ページ数と行数を示す)

修正前:

悪化時の対処の実態に関する研究はほとんど行われていない。既に行われている研究としては、患者が病状悪化を認識したときに行っている対処方法についての研究があり、7割の患者が食事内容の変更という対処を取っていたが、すぐに医療機関を受診するのは2割弱しかいないということが分かっている(Tanaka et al.,2009)。

修正後:

悪化時の対処の実態に関する研究はほとんど行われていない。潰瘍性大腸炎患者においては、過半数の患者で病状悪化の認識と受診判断にはギャップがあることが明らかになっており、受診判断の遅れにより悪化時の治療開始が適切なタイミングで行われていない患者が存在する可能性が指摘されている(Tanaka et al., 2013)。クローン病患者を対象に行われた研究としては、患者が病状悪化を認識したときに行っている対処方法についての研究があり、すぐに医療機関を受診するのは2割弱しかいないということが分かっている(Tanaka et al.,2009)。

どのように変更したかを修正前後で対比させて提示